



令和7年1月27日
日本下水道事業団

WEB ブラウザ上で点群データの閲覧が可能なシステム「JUMP」を開発！
～JS が新システム「JUMP」で BIM/CIM 活用を促進～

日本下水道事業団（JS）では、下水道施設における点群データの活用をさらに推進するために点群データの閲覧システム「JUMP」を開発しました。「JUMP」は専用のソフトウェアを必要とせず、WEBブラウザ上で点群データを閲覧でき、一般的な業務用パソコンでもスムーズに操作することができます。運用にあたってはセキュリティ及びプライバシーの観点より、JSの委託団体や建設プロジェクト受注者からの申請により必要な施設のみ閲覧できる権限を付与する仕組みとします。点群データ閲覧システム「JUMP」は令和7年2月3日にリリースします。

JS は、「DX 推進基本計画」に基づき BIM/CIM 活用を推進しています。その取組みの一環として、JS が蓄積してきた点群データを WEB ブラウザ上で閲覧できるシステム「JUMP（Junction Utility for Modeling and Performance）」を開発しました。



これまで点群データの閲覧には高性能なワークステーション PC と専用ソフトウェアの購入が必要で、多額の初期投資が課題でした。しかし、新システム「JUMP」の導入により、WEB ブラウザのみで点群データを閲覧できる環境が実現しました。これにより、下水道施設のデジタル上での再現が可能となり、建設プロジェクトや災害支援における BIM/CIM 活用に寄与することが期待されます。

「JUMP」はフリーソフト Potree を組み込んだ「MONOLIST」（株エム・ソフト）を基に JS のニーズに合わせて開発したもので、一般的な業務用パソコンでもスムーズに点群データを閲覧できる軽快な操作性を確保しています。

「JUMP」の運用はセキュリティやプライバシーの保護を重視し、委託団体や建設プロジェクト受注者からの申請に基づき、必要な施設のみを閲覧できる権限を付与する仕組みを採用します。システムの運用開始は令和7年2月3日を予定しています。

JS では今後も下水道で使用できる先端技術の普及に努め、BIM/CIM 活用の推進も含めた下水道プラットフォーマーとしての役割を積極的に果たしてまいります。

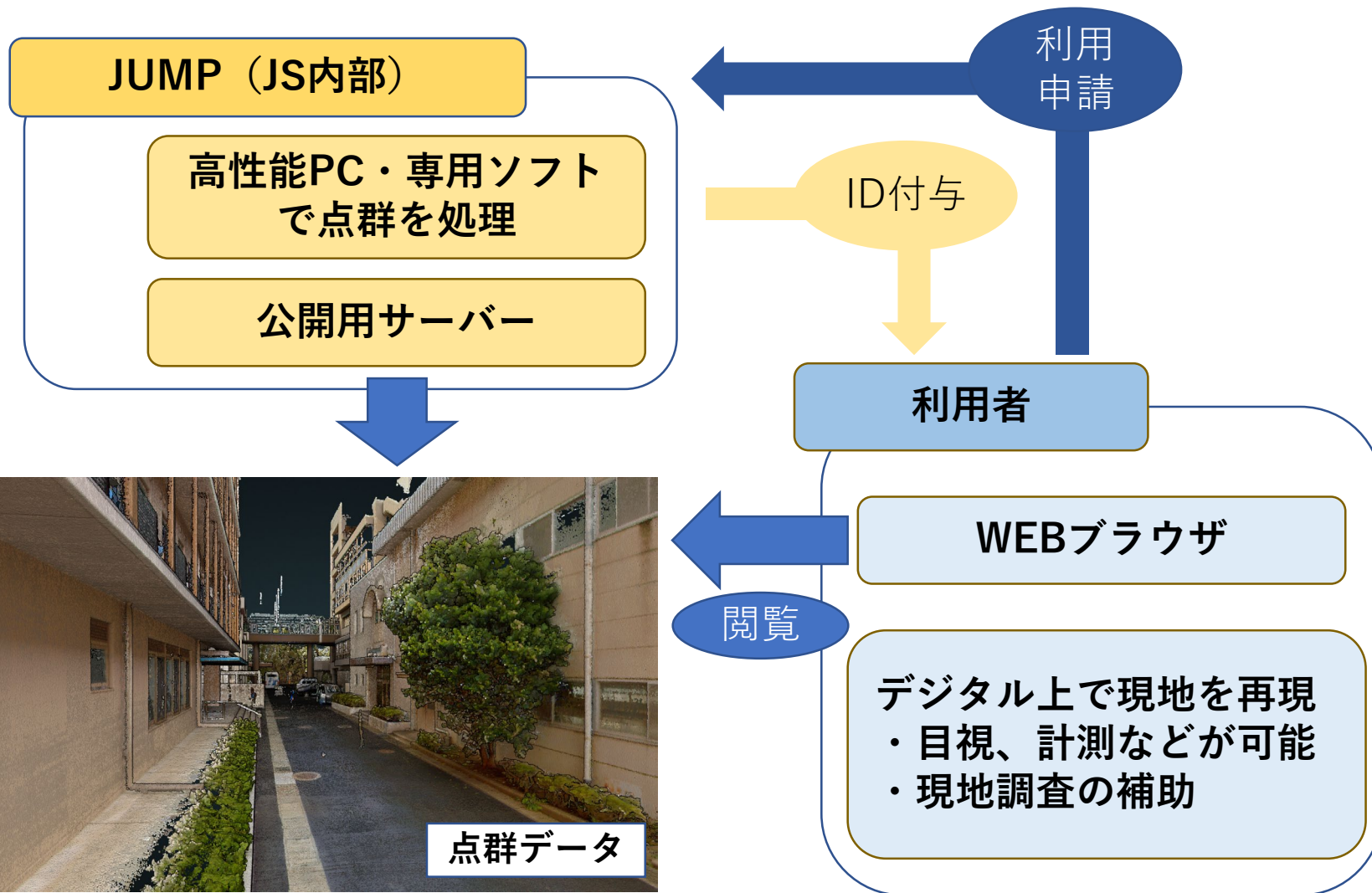
<問い合わせ先>

日本下水道事業団 建設 DX 課長 及川 宗

建設 DX 課 山田 裕史

TEL : 03-6892-2019 E-mail : JS-DXstrategy@jswa.go.jp

JUMPの概要



利用者は点群の閲覧に専用PCやソフトを必要としない
現地をWEBブラウザ上に再現し、現地の確認や簡易計測が可能

BIM/CIM活用に寄与